佐賀の三右衛門

十五代 酒井田柿右衛門

美しさは「調和」の中から

美しさは「調和」の中から生まれてくるものだと思います。十七世紀後半の柿右衛門様式全盛の頃の焼物は、磁肌の色と赤絵が何とも言えない絶妙なバランスを保っており、そこに人の心を和ませる一体感が生まれ、美しいと思う気持ちへと変化させるのです。